

# たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市会議員団控入室 TEL 740-1111 (内線4020)  
直通FAX 759-1811  
黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ <http://kurodamich.exblog.jp>

## 12月定例会

### …突然の解雇や生活困窮者に 市税、保険税の減免と医療の保障を…

「いのちとくらしを守りきる」立場を明確にするよう市長に答弁を求めましたが、最後まで、市長は答弁には立たず、「相談に来られた方には十分な対応をする。」という担当部長の答弁にとどまりました。

「いのちとくらしを守りきる」立場を明確にするよう市長に答弁を求めましたが、最後まで、市長は答弁には立たず、「相談に来られた方には十分な対応をする。」という担当部長の答弁にとどまりました。

私(黒田)は、12月議会、住民のいのちとくらしを守りきる立場で、「市税の減免の充実」を住民の実態にあうように、また、「市内無保険の子ども6人」「市内287人の後期高齢者医療保険料滞納者」を含め、住民から医療を奪わないよう、市として十分な手立てを取るよう「国民健康保険税」や「後期高齢者医療制度」の問題で一般質問をしました。

1999年、専門業務に限定されていた派遣労働を「原則自由化」にし、国民の雇用破壊が行なわれました。2002年からの小泉構造改革、自民・公明政権による「骨太改革」以降、国民負担は総額1兆2兆7000億円(1人当り10万円)負担が増えています。

## 市は市民の命を守る砦に



11月の厚生労働省の調査では、非正規労働者の解雇・雇止めは約3万人。年収200万円以下の「働く貧困層」は1032万人。働く人の3人に1人、若者や女性では2人に1人が非正規労働者です。

原油高による物価値上げ、アメリカ発の金融不安による景気悪化。川西市でも福祉全般の切捨て、上下水道料金的大幅値上げ、などをすすめ、住民のくらしは大変な状況に追い込まれています。

様々な「税」を払うことが困難になった時、「分納」「減免」を含め速やかに相談にのることの大切さ、PRの徹底を要求。

「生活保護」を含め多重債務に追い込まれないよう総合的に支援することや「減免」制度を住民の実態に応じて拡充することを訴えました。

## 納得、安心・安全の焼却場を 国崎クリーンセンター 15日から試運転

たんぽぽだよりNO74号でお伝えした「国崎クリーンセンター」焼却炉立ち上げ時に組合基準を上回る排出ガス発生」の問題は、11月21日と12月8日の議員総会で、「6時間の暖機運転を追加し、必要な蒸気確保すること」で基準が守られ解決すると説明されました。

しかし、議会への報告のあり方や保全委員会の問題にならなければ黙認しようという姿勢、解決策が「乾式排ガス処理導入」↓「6時間の空焚き」と企業の言うままに変るあいまいさなどの問題点が明らかになりました。

施設組合は、「不手際に対

しての謝罪・経過説明」をし、12月15日から稼働開始、17日からこみ稼働入をする」としています。

私(黒田)は、この間の経緯、問題点や課題を総括して、1市3町の住民の皆さんに知らせていくこと、稼働後の情報公開を含め真の安心・安全の稼働になるよう強く求めています。(この間の経過はブログでも掲載中)

新聞に掲載された日。朝一番からメールや電話で「新聞見た見た!」。救急救命の講習をされている方からは「今日の会合で話しをしたい。勇気をもって対応すれば、いのちを助けられることを知らせたい」と。新聞ってすご〜い(´▽`)v

心臓マッサージをしている時、「生きたい」という命の声を聞いた気が。私は、必死で「大丈夫ですよ〜がんばってくださいね〜」と叫びながら胸を押し続けた。心臓も呼吸も止まっている・・・止まっても・・・生きたい・・・というメッセージが伝わってきた・・・

ご本人が、ご夫婦で表彰式に参加。「私の2度目の誕生日です。ここにおられる方は私の親と同じ。大事に生きたい」と挨拶され、とても感動しました。

## 人命救助で表彰されました

2008年(平成20年)11月27日

### 黒田・川西市議 お手柄

川西市議の黒田美智さん(50)が、車内で心臓停止状態だった男性を救急隊到着まで心臓マッサージして蘇生させた。26日、市消防本部から表彰された。保善士歴28年。園児の事故に備え、講習会でタミー人形に心臓マッサージをしたことがあったという。「人の命を助けられてよかった」と話す。(野口拓朗)

**市消防本部が表彰**

9月10日午後6時40分ごろ、地元で会合に向かうためマイカーを運転中だった黒田市議は、同市清和台西2丁目の県道交差点で信号待ちしていた。右車線の車が流れないで左車線に出たところ、右車線の2台前の乗用車が停車したまま、運転席の同市栗山台1丁目、会社員北村晏一さん(61)が

男性を心臓マッサージした時の様子を身ぶりですす黒田美智市議(川西市役所)

車を止めて駆けつけ、ロックされていた。北村さんは脈がなく、鼻に手を近づけると息もない。別の男性は119番通報を頼み、フロントガラスに背を向けて馬乗りになってマッサージし続けた。北村さんは時折「ア」と声を上げた。

通報から7分後に到着した救急隊員がAED(自動体外式除細動器)を施して息を吹き返した。消防本部は「救急隊到着まで向もなされていなかったら生存の可能性は低かった」と黒田市議のマッサージを評価している。

北村さんを襲ったのは狭心症による発作だった。約1カ月後に退院、後遺症もなく元気だ。北村さんは「当日から4、5日の記憶がない。今は生まれ変わったような感じ。黒田さんは命の恩人です。みなさんの連携に感謝します」と話している。

09年新春の「つどい」 1月 7日 水曜日  
川西市文化会館大集会室 午後 6時 30分より  
映画『蟹工船』上映 参加費 500円

# 「外需だのみ」から「内需主導」へ

## みんな言うけどどうして?

「外需だのみから内需主導へ」。日本共産党だけの主張ではありません。景気が悪化するなか、政府まで言い出しました。改めて、どういう意味か、なぜ転換が必要なのかを考えてみましょう。

### Q.「外需」「内需」とは?



〈A〉外需というのは、海外からの需要のことです。内需とは、国内の需要のことです。需要とは、商品を買う力に裏付けられた欲求のことです。例えば、自動車を買いたいだけでなく、自動車が買える力がないと需要とはいえません。外需は一般には輸出から輸入を差し引いた純輸出を指します。内需には大きく分けて民間需要と公的需要があります。民間需要には個人消費、住宅、設備投資などがあります。公的需要には公共事業などがあります。なかでも比重が大きいのが個人消費で、国の経済の力を示す国内総生産(GDP)の55%を占めています。

### Q.「外需だのみ」って?



〈A〉「輸出だのみ」と言い換えることもできます。経済成長をもちばら外需・輸出にたよることを「外需依存型」の経済成長と言います。戦後最も長いと言われながらも、庶民には実感がなかった今回の日本の「景気回復」は、典型的な「外需依存型」でした。米国の「好景気」やアジアの経済成長に支えられ

### Q.効果的な政策は?



〈A〉内需の中心で、GDPの55%を占める個人消費を活気づかせることです。庶民の日々の消費が活発になるといっていい。物がよく売れるといつていい。物が売れば、農業も商店も町工場も企業も元気

### Q.政府もつたつが?



〈A〉たしかに麻生自公政権は追加経済対策で「経済の体質転換により、内需を拡大し、新たな成長への展望」をひらくことをうたっています。麻生首相は十一月十五日、ワシントンで開かれた金融サミットでは「外需依存度の大きな国における自律的な内需主導型成長モデルへの転換」を提案しました。問題はそれが、日本経済を極端な「外需依存」にして、内需を弱々しいものにしてしまったかということだと思います。

### 自民・公明政権は、輸出

になりません。景気が左右されます。米国の景気回復が鮮明になると、日本の輸出は伸び悩み、経済成長もマイナスに転じています。麻生自民・公明政権も「外需に依存してきた日本経済は、世界経済の減速に伴いすでに景気後退局面に入っている。十一月三十日の追加経済対策」と認めています。日本リサーチ総合研究所の十月調査によると、今後一年間で「消費支出が減る」と答えた人がほぼ半数にのぼります。理由(複数回答)は「物価が上がった」「給与や事業収入が伸びない」「税と社会保障の負担増も影響しています」。消費を活性化させるには、物価を安定させることも、雇用と社会保障の不安をなくし、収入を増やす

## NHK「日曜討論」での市田書記局長の発言

### 内需拡大へ雇用守ることが一番の問題

司会者が「雇用問題の背景にある経済のあり方や仕組みは、どうあるべきかを見直す議論をすべきでは」と提起したのに対し、市田氏は次のように答えました。市田「こういう雇用の破壊が日本経済に与えた影響というのは、やはり大きなものがあります。ある研究機関の試算では、希望する非正規社員を正規社員化し、サービス残業を根絶して、有給休暇を完全に消化するだけで、国内生産が二十四・三兆円も増えるというんです。輸出大企業頼みではだめで、内需拡大をどうするのは、各党が全部いっています。しかし、内需拡大という点で一番の問題は、やはり雇用をきちんとして守ることです。経済効果という点からも、いまの派遣切りなどが、期間社員の雇い止めなどのひどい状況をなくして、労働法制の規制緩和から規制強化へと転換すべきです。もうけているときには「スト削減のために(非正規労働者を)こき使い、不況のときにはいつでも追い出す」というやり方です。「景気後退」のツケを、何の責任もない働いている人に負わせるやり方は、本当に間違っていると思います。大企業が社会的責任を果たすのと同時に、日本経済の今後のまともな発展という点からみても、雇用問題は非常に大事だし、政治がいまきちんと責任を果たすべきです。